

# 平成30年度事業報告

## 夙川さくら保育園

### 1. はじめに

保育士に求められる専門性や人間性を高めるために、園内で研修委員会や人権研修委員会を立ち上げ、中堅職員をリーダーにして学び合いの機会を設定いたしました。特に人権研修委員会を中心にした人権研修では、子どもへの共感的で肯定的なかかわり等について学ぶ機会になりました。今後も引き続き、保育士等の職員の人権感覚を磨き、子どもが安心して自己発揮でき、子どもの自尊心を育む人的環境を作るべく実践を積み上げていきたいと考えます。これらの研修は、職員同士の豊かな人間関係構築に通じるものなので、継続して取り組んでいきます。また、法人内の三園で合同研修会を実施しました。同じ学年同士で情報交換を中心に行ったことで悩みや喜びを共感することができました。

今年度は新規採用職員を含め、正規・嘱託職員の離職がなく、若手保育士がそれぞれに経験を積み上げることができました。

### 2. 事業計画

#### 1) 施設を利用される保護者と手を携え、保育園の独自性を活かした施設運営を行います

(ア) 西宮市の待機児解消を受け、利用率115%、92名(定員80名)の利用を今年度も堅持すべく取り組みましたが、年度途中で転宅による退園が相次ぎました。

⇒西宮市の待機児童解消の一助として、1歳児1名、2歳児1名増の受け入れを行いました。

<利用状況> 【定員 80名】 予算月平均利用者数 91名 利用率 114%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	前年度
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0
1・2歳	25	27	28	27	28	28	28	28	28	28	28	28	27.6	26.0
3歳	20	20	20	20	20	20	20	19	19	18	18	17	19.3	20.0
4・5歳	39	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38.1	40.0
合計	90	91	92	91	92	92	92	91	91	90	90	89	90.9	92.0
利用率%	112	114	115	114	115	115	115	114	114	113	113	112	113.6	115.0

<備考>平成30年度末に保護者の転勤等に伴う急な退園等がありました。

(イ) 「障害児保育」の加配保育士、3歳児の生活支援保育士を配置し、子どもにとってきめ細かい援助をしていきます。

乳児クラスでは、十分に養護の行き届いた環境づくりを工夫します。また、幼児クラスで集団遊びや協同的な活動を工夫し、個の成長と集団としての活動の充実が図れ

るようになっています。

⇒「障害児保育」の加配保育士を4歳児クラスに、生活支援保育士を3歳児クラスに配置して個別の支援や子どもが自立した生活ができるようにきめ細やかな支援に努めました。

乳児クラスでは、手作りおもちゃなどを作成し、子どもの成長・発達をとらえて、遊びの環境構成を工夫しています。同時に十分に養護の行き届いた環境づくりを工夫しました。今年度は園内でのケガによる病院での受診が減少しました。

幼児クラスでは集団的な遊びや協同的な活動に取り組む中で自己発揮できる保育を工夫しました。運動会や生活発表会では、その成長ぶりを発揮しました。

(ウ) 地域子育て支援事業内容を地域のニーズに合わせて計画・実施します。

⇒0歳児、1歳児の体験保育では、参加された保護者が園児の成長の姿を見たり、共に遊ぶ楽しさを共有されたりして保育園への信頼の声をいただきました。

年度当初に申し込み受け付けをしている事業については、申込を忘れていた保護者がおられ当日連絡なく不参加家庭が数軒ありました。対応を工夫しなければなりません。

(エ) 年末保育のあり方の検討を安井保育園と共同で引き続き行います。

⇒来年度には法人内の3園でアンケートをとることにしました。

## 2) 保育の質向上のために

(ア) 正規保育士を一名増やして保育の充実を図ります。

⇒4月当初より1名増やしました。

(イ) 職員の心身の健康保持のため、事務等を簡素化し、事務時間の軽減を図ります。

⇒週案と日々の反省、ヒヤリハットが同一の用紙で記入できるように様式を一本化しました。勤務時間中に事務時間が取れるようにパート保育士等の配置を行いました。

月末統計はITシステムを活かして事務が一括してできるようにして、簡素化への取り組みをしました。

(ウ) 「保育指導日」を中心に、園内研修を充実させていきます。また、キャリアパス加算を維持できるように外部研修を積極的に受講し、研修内容を職員間で共有していきます。

⇒「公開保育日」（「保育指導日」改め）を中心に、園内研修を実施しました。また、キャリアパス加算を維持できるように外部研修を積極的に受講できるようにしました。

研修内容を職員間で共有するために職員会議の中で設定しましたが、時間的な制限があり十分にできず課題が残りました。

(エ) 自己評価とヒアリングを前期・後期に分けて実施し、円滑な職場環境作りや人材育成に反映させます。

⇒10月と1月に2回、自己評価表を基にしたヒアリングを行いました。若手職員の考えや思いを受け止め、職場環境作りや人材育成に反映させる一助となりました。

### 3) 地域子育て支援及び地域との交流

(ア) 地域子育て支援担当者が中心になり、体験保育、子育て教室、園庭開放、園内行事への参加、絵本の読み聞かせなどの実施し、定期的に子育て情報をホームページに掲載する等アピールを行います。

⇒地域子育て支援担当者が中心になって準備、実施にあたるように進めていきました。ホームページは行事担当者が作成できるように研修し、作成しました。

(イ) 保育園の栄養士・看護師・保育士が専門性を活かし、積極的に育児講座に関わり、地域の子育てに貢献しています。

⇒看護師の退職に伴い、同看護師を外部講師として招聘し 10 月のベビーマッサージ講座を実施しました。他の講座は園児の嘔吐との感染症が流行った時期には中止しました。

(ウ) 保育園が地域に根付くように、今年度より入会します。また、夕涼み会、地域合同避難訓練などに地域の方も参加して頂き、協力や理解を得るようにしていきます。

⇒安井地区青少年愛護協議会に入会しました。また、夕涼み会（大雨のため中止）、地域合同避難訓練の協力・参加依頼の案内を地域役員や近隣に配布しアピールしました。当日は近隣地域の自治会長等の協力を得て、安井保育園共に地域合同避難訓練を行いました。

#### <子育て支援事業の利用者>

	体験保育 (組)人	短期体験 保育 (組)名	子育て教室 (組)名	育児講座 (組)名	園庭 開放 (名)	育児相談 (件)	子ども 図書館 (人)	情報誌 配布 (部)	地域交流
4月	—				23	4	23	200	
5月	—				36	5	36		
6月	2組4人			1 2組 2 4名	40	5	40	200	高齢者と交流
7月	—	3組6名	5組10名		11	2	11		夕涼み会（大雨のため中止）
8月	—				22	0	22	200	
9月	3組6人	3組6名		5組10名	25	0	25		高齢者と交流
10月	—	2組4名		2組4名	76	5	76	200	
11月	3組6人				13	4	13		地域合同避難訓練 高齢者と交流
12月				4組8名	14	1	14	200	
1月				6組12名	4	2	4		
2月			4組8名	4組8名	31	2	31	200	
3月			7組14名		19	0	19		
計	9日間8組 16名	8組 16名	16組 32名	33組 66名	314	30	314	1200	

#### 4) 安心・安全・快適な環境づくり

- (ア) 備品の補充を行い、さらに子どもの保育・生活環境整備を行っていきます。  
⇒乳児の受け入れを増やしたことにより、ロッカーを購入・新設しました。
- (イ) 毎月、避難訓練を計画し、消火訓練・不審者・地震対応の訓練を複数回入れ、あらゆる場面を想定した訓練を実施します。  
⇒予定通りリーダーを交代して避難訓練・消火訓練・不審者対応訓練を行いました。
- (ウ) 毎月、全職員が順番に安全点検を行い、速やかに安全、且つ快適な環境を整えていきます。  
⇒点検場所、点検者を替えて、定例的に行いました。
- (エ) 検討委員会（保健衛生・事故発生）で事故防止の徹底化を図り、職員にあらゆる場面を想定した研修を行い、マニュアル（乳幼児突然死症候群（SIDS）・アレルギー除去対応誤食など）の周知をしていきます。  
⇒ロールプレイング法で実際に活用できる研修を行いました。
- (オ) ヒヤリハットに基づく解決策を職員全体で共有し、事故防止の徹底化を図ります。  
⇒毎日、ヒヤリハット事案を記載するようにしました。共通理解が必要なことについては、事故防止委員会が中心になって職員会議で協議し対策を練るようにしました。今年度は病院での受診件数が減少しました。
- (カ) 地域の避難所としての機能を整えていきます。（非常食の準備等）  
⇒非常食や簡易トイレ等を購入しました。

#### 5) 一時預かり事業

- (ア) 一時預かり事業は定員8名とします。保育士を2名配置し、年間利用者数は1500名以上を目標とします。  
⇒昨年度に引き続き、利用者が1,600名を越えました。育児不安な保護者の利用もあり、乳幼児の健全育成の支援につながりました。
- (イ) 一時保育の質を向上させるとことや事業内容充実のために担当者の研修と備品の整備を実施します。  
⇒テーブル付きの椅子を購入しました。家庭保育の延長として、子どもたちになじみのある手作りおもちゃ作成を積極的に行いました。

＜一時預かり保育 利用状況＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度 合計
0歳	12	16	14	15	7	14	29	27	23	28	22	29	236	85
1歳	85	90	90	55	55	62	66	69	60	64	73	70	839	554
2歳	24	24	22	57	47	40	47	33	33	24	28	33	412	846
3.4.5歳	13	16	19	15	30	7	10	10	20	10	9	6	165	193
合計	134	146	145	142	139	123	152	139	136	126	132	138	1,652	1,678